

オーシャンズカップ 2025 大会の見どころ

今年の OWS オーシャンズカップ 2025 は 10 月にオーストラリアで行われる 2025 Junior Open Water Pan Pac Nations training and training camp の選考がかかった重要な大会となります。2006 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までに生まれた選手の中から男女各 2 名が代表に内定します。

今回は、世界選手権代表メンバーが遠征のため不出場となり、どのレースも混戦が予想されます。

男子 10km は日本選手権上位者常連で代表経験のある南出大伸（木下グループ）、古畑海生（佐藤製薬）、仲光陸遥（法政大）、渡辺雅空（SAGA SSP）、岩住宏一郎（日本体育大）などがレースの中心となりそう。どこでラストスパートをかけるのかが勝負のカギとなります。混戦レースはラストまで目が離せません。

女子は昨年の OWS 日本選手権 10km でも 3 位、代表経験も豊富な奥園心咲（枚方 SS）、昨年の OWS 日本選手権 10km 4 位、インターハイでも 800m 自由形 3 位に入っている谷清美（新潟医療福祉大）、代表経験がある小島光丘（中京大）、加藤はなの（青森県競技力）が中心となると予想されます。そこに昨年の OWS 国スポ 5km 3 位、今年の競泳ワールドユニバーシティーズ代表の竹澤瑠珂（東京 SC）や昨年の競泳ジュニアパンパシフィック代表の高遥香（神奈川大）、OWS 世界ジュニア代表でインターハイ 800m 2 位の梶本幸花（枚方 SS）がどこまで喰らいつきレースができるかが勝負のカギになりそう。

ジュニアの代表選考レースはかなり混戦が予想されます。

男子は、エントリー選手で 1500m 最も速いベストを持っており、海の経験もある内村弥路（スウィンみよし）、春 JO で 1500m 2 位、直近の試合でもベストを連発し好調をキープしている竹村空竜（中京大）、春 JO ベストで 1500m 3 位に入り 10km のレース経験もある花澤柊太（近畿大）、世界ジュニア代表としても活躍し、競泳も著しい成長を遂げている中川太苺（枚方 SS）が中心となるでしょう。女子は、奥園、谷、竹澤、高、梶本と上位を狙うメンバーで混戦予想。どのような戦略で勝負にいくか注目ください。

5 キロは代表選考がないこともありフレッシュな顔ぶれが多く、誰が入賞するのか全く分からない状態です。男子は 10km から連戦ですが実績のある南出、渡辺、岩住に、女子は小島や松崎りん（早稲田大）に中高生がどこまでついて行けるか、ニュースターは現われるのか注目です。

OWS オーシャンズカップ 2025 の観戦は入場無料です。

一部選手専用エリア等、立入禁止区域はありますが、大会会場の館山北条海岸はフリースペースがたくさんあります。

特におすすめは選手が周回ごとに近くを泳ぐ栈橋は選手を間近で観覧できます。

選手たちのハイスピードでの泳ぎと、様々なかけ引きが行われる熱い戦いをご観覧ください。皆様のご来場をお待ちしております。

日時：6 月 15 日（日）

8:00 10km 男子 競技スタート

8:02 10km 女子 競技スタート

12:00 2.5km・5km 男子 競技スタート

12:02 2.5km・5km 女子 競技スタート

会場：千葉県館山市北条海岸 JR 館山駅西口より徒歩 5 分

YouTube にてライブ配信いたします。

（東京オリンピック大会マラソンスイミング競技女子日本代表の貴田裕美さんが解説予定です。）

選手選考についての詳細は下記より確認できます。

[【OWS】2025 年度 OWS 国際大会代表選手選考方法を改訂](#) | [代表選手要項](#) | [公益財団法人日本水泳連盟](#)